

6. 7. 8月の活動内容報

ビーバー(BVS)隊



6/2 中野駅に集合し、世界の恵まれない子供達のための募金活動を頑張りました。その後は体験会。もみじ山公園で体験会に来てくれたお友達と一緒に隊集会をしました。テーマは「自然はともだち(都会編)」。10円玉がピカピカになる葉っぱをさがしたり、葉っぱの匂いをかいでみたり、草笛を吹いてみたり



…身近な公園で自然を見つけて遊びました。

6/16 野川公園にて体験会第二弾!!遊びに来てくれたお友達と一緒に隊集会をしました。テーマは「自

然はともだち(野原編)」。草花で遊んでみたり、枝で遊んだり。お昼ご飯はビーバー隊がお米とサラダの担当。(カブ隊がカレー担当。)お米をペットボトルで洗って、レタスをちぎりま



した。またテントも建ててみました。おやつには、マシュマロ焼き。・・・いろんな経験が初めてのお友達と一緒にできました。ゲストのお友達もたくさんいて、いつもより大きな大輪ができました。

6/30 あいにくの天気でしたが、体験会に遊びに来てくれたお友達も集まり、みんなで七夕集会を行いました。紙芝居をみて、飾りを作りました。色とりどりの風鈴型の七夕飾り。折り紙で星やちょうちんなども作りました。出来上がったたくさんの願い事が室内に並びました。

メッセージには自分のことだけでなく、世界の平和を願うメッセージを書いているスカウトもいました。

7/14 残念ながら当日の天候は雨。そんな中でしたが、ビーバー隊では夏祭りをテーマにした隊集会を実施しました。割り箸銃砲や釣り竿を作り、自作の物を使って射的のコーナーと魚釣りのコーナーに参加しました。ほしいものはゲットできたかな? 補助者の方々にもコーナーの運営をサポート頂き、集会室をお祭り会場に演出することが



できました。また、この日は体験会に参加してくれたお友達が入隊し、新たなビーバースカウトの仲間ができました。

7/21 葛西臨海水族園にてかけました。海の生き物に関する課題を解きながら時間をかけてじっくり観察しました。エイやサメに触れ合う時間もありました。最初はサメ



やエイに触れるのをためらっていたスカウトも、最後は優しくなであげることができました。また、この日は東京各地のビーバー隊とも会うことができ、「こんにちは」と元気よく挨拶しました。たくさんの仲間と「なかよし」できて良かったね。



8/25 1ヶ月ぶりにビーバー隊が集まりました。集会の冒頭に入隊式を行い、新たに2名のスカウトが誕生しました。もみじ山公園で夏を探す散策しました。まだまだセミが鳴いていて、セミの抜け殻もたくさんゲット！！

その後は、室内でビーバー隊だけのキャンプファイアー、歌やゲームで盛り上がりました。その時に、夏休みの思い出を発表しました。行ってきた所、頑張ったこと等を一人ずつ緊張しながらも発表しました。



カブ(CS)隊



6/2 団行事 朝イチで中野駅に集合し世界の恵まれない子供達のために募金活動を頑張りました。その後、もみじ山公園に移動してボーイスカウトの自然はともだち(都会編)で初めてのお友達と一緒にカブ隊 組集会を体験しました。今回のテーマはロープと遊ぼう！ロープ結びを覚えてゲームしたり、ロープを使って木の幹の太さを測ったり、都会の中の自然も楽しみました。

6/16 団行事 奇跡的に好天に恵まれて、体験のゲストと一緒に野川公園へ。駅から暗号文をみんなで解いて 大きな木の計測をの課題をクリアしながらキャンプ場へ。その後、カレー作りのお手伝いやテント建て、ロープでのゲームにマシュマロ焼きを自分の枝で食べました。野原のシロツメグサは刈り取られちゃったけど、大きな野原で目一杯遊んで、組のチームワークも上がってきました！



6/30 組集会 G20



閉幕の翌日、世界を知るプログラムで国や都市、地域を知って各国の国旗などをみんなで当てっこしました。結構知ってたね。日の丸にも意味があるように、国の旗なんては思いが詰まっていることも理解してくれたかな？ 国旗でゲームをした後に、アメリカで行われる世界ジャンボリーに代表として派遣される2人(ベンチャー、リーダー)の壮行会で みんなで送り出しました。

7/14 組集会 あいにくの雨で室内のみの活動になったけど、ちょっと世界の歌と踊り／ゲームも交えて翌週のハイキングで作る世界料理をみんなで話し合いました。テーマは料理で世界旅行 副題 世界オンザライス。色んな世界を体験して欲しかったけど、ほぼ普段食べる料理にまとまりました。ロコモコ、ハンバーグ、ビーフカレー、麻

婆豆腐 食事の由来もチョット勉強しました。

7/21 隊集会ハイキング いよいよ川崎市黒川野外活動センターにて 世界オンザライス 本番です。1組 ロコモコ、2組ハンバーグ、3組ポークカレー、4組麻婆豆腐。前日の7/20に各組で食材の買出しをしてから臨みました。3組はビーフカレーの予定が牛肉が高くて急遽ポークカレーに。ほんの少しですが金銭感覚の勉強になりました。ゴハンはまとめて炊いて、料理は各組で作って



食事。自組の料理と一口ずつ他の組の料理を食べて 投票しました。みんな美味しかった！と達成感で満足げでしたが デンリーダーと隊長/副長、保護者も加わった投票の結果、麻婆豆腐の4組が優勝！午後は横のどんぐり山で探検したりシーソーで遊んだり、デン(組)の秘密基地作りで楽しみました。チョット時間切れで完成しなかったけど、みんな良いポジションは確保できていたので、次の機会に期待です。

8/4 組集会 夏キャン準備集会。夏休みに入り参加スカウトはすくなくったけれど、しおりの説明、歌の練習、インディアンについてのお話をしました。

ボーイ(BS)隊



6/2 ユニセフ募金を中野駅前で行いました。そのあと、体験会のデンコーチとしてカブ隊の集会の手伝いをしました。

6/16 あすなろ地区主催の救急法講習会に参加しました。

6/30 各班長の計画したテーマに従い班集会を行いました。

7/7 班会議を行い、翌週の班キャンプに向けて、食事のメニューを計画しました。

7/21 7/13-15に予定していた班キャンプが中



止となったため、夏キャンプの準備として班集会(デイキャンプ)をひよどり山キャンプ場で行いました。

7/28-29 夏のキャンプに備え、水元公園で班キャンプを行いました。

7/28 さくら地区(台東区、文京区、荒川区、足立区)が毎年行っている隅田川花火奉仕に、参加しました。奉仕内容は路上で立ち止まることの無いように観客に声かけをすることです。班キャンプの合間を縫っての奉仕活動になりました。

8/4 東京連盟主催のサマーキャンプに参加するための準備、心構えの説明を隊長から受けました。その後は、それぞれの進級課目に取り組みました。

8/24 MさんとYさんが、さくら地区が中心となっている、浅草サンバカーニバルについての奉仕に参加してきました。サンバのダンスチームの先頭をプラカードを持って歩きました。



8/25 班会議を行いました。キャンプの評価・反省を行い、各自のこれからの目標を確認しました。

ベンチャー(VS)隊



6/2 ユニセフ募金を中野駅前で行い、その後体験会の支援に参加しました。夕方は隊会議をココスで行い活動計画を立案しました。

6/9 Kくんが東連主催の測量章講習会に参加し、見事合格証を取得してきました。受講した成果を8団内のス

カウトにも伝達して技能のレベルアップが期待されます。

6/16 Kくんが葛飾区で行われた24WSJの派遣隊第9隊の事前訓練集会に参加しました。

6/30 第24回世界スカウトジャンボリー団壮行会が行われ、ジャンボリーに参加するKくんが副団委員長から激励の言葉をかけてもらいました。

7/8 KくんとYさんが隊会議を行いました。

8/4 Yさんがボーイ隊集会に隊付として参加しました。

8/25 Kくんが24WSJ派遣隊9隊の事後集会に参加しました。その後、地区の技能章訓練の事前集会に参加しました。



ローバー(RS)隊



6/15 Nさんが地区ローバースカウト定例会に参加しました。

6/16 ビーバー隊・カブ隊の活動体験ハイキングに、Fくん、Tくん、Nさんがサポート参加しました。

7/28 Tくんがボーイ隊の隅田川花火大会警備奉仕に引率者として参加しました。

8/15-18 Fくんがカブ隊夏季キャンプに、Tくんがボーイ隊夏季キャンプにサポート参加しました。

8/17 あすなろ地区ローバーの定例会が行われ、Nさんが参加しました。

(この他、Fくんがビーバー隊、Tくんがボーイ隊の副長補としてそれぞれ集会に参加)

8月夏季キャンプの活動内容報告

カブ(CS)隊 夏季キャンプ舎営



8/15-18 今年のカブ隊夏季キャンプは3泊4日で、「那須甲子インディアン村」をテーマとし、那須甲子少年自然の家でスタート。自然の中で逞しく生きる知恵や技術をもったインディアンにちなみ、3泊4日のプログラムを実施しました。

自然の中で逞しく生きる知恵や技術をもったインディアンにちなみ、3泊4日のプログラムを実施しました。





8/15 中野四季の森公園集合後、貸切バスで出発。初日は、館内オリエンテーリングの後、野外冒険ハイキングにでかけ、竹やぶをかき分け、目的地を目指しました。途中には雨にも降られ落ち込むスカウトもいましたが、全員でゴールできました。施設帰着後には、キャンプの目標やねがいごとをこめて、ドリームキャッチャーやキャンプファイヤーで使う帽子を作成しました。

8/16 残念ながら2日目は朝から雨。プログラムを変更し、午前中は室内で各組ごとトーテムポールを

作成しました。好みの動物や興味のあるものを描き、バランスをみんなで考えて、オリジナルのトーテムポールが完成しました。さらに翌日のキャンプファイヤーで行うスタンツについて、デンリー



ダーと一緒に話し合いました。夜前には何とか雨が上がり、ナイトハイキングに出かけました。日中とは異なり、静かな雰囲気の中、星を眺めたり、虫の鳴声を頼りに探しました。



8/17 3日目はようやく晴天に恵まれたので、記念Tシャツに着替え、沢歩きハイキングにでかけました。追跡記号を頼りに目的地を目指しました。途中、苦しい場面も

ありましたが、組のメンバー同士、声をかけあってゴールにたどり着きました。目的地に到着すると、川の中に隠れていたパワーストーンを探したり、イワナを捕まえて、おいしく焼いて食べました。



夜には近くで野営をしているボーイ隊と合



同でキャンプファイヤーを実施。前日に考えたスタンツは、スカウト一人一人が大きな声で演じることができました。

8/18 最終日の朝は、部屋の片付けと自分の荷物をしっかりまとめました。来た時よりもキレイに合言葉に、自分たちの手で行いました。そして、キャンプ最後のプログラムはピザ作り。デンリーダーのアドバイスを頼りに、おいしく作ることができました。出来上がったピザを、隊長やサポートに来て

くれたリーダーにおすそ分け。とても喜んでいました。閉所式ではいよいよ、最優秀組の発表です。一組から四組まで、本当に力を合わせて頑張りましたが、4日間最後まで一番元気のよかった3組が最優秀組です。3組のみんな、おめでとう！！

今回のキャンプでは、各地のスカウトの仲間とも会うことができ、励みになったと思います。カブスカウトのみんなには、このキャンプで気づいたこと、学んだことを日頃の集会や日常生活に役立てて欲しいと思います。





ボーイ(BS)隊



東京連盟サマーキャンプ参加

8/6-11 茨城県高萩市の高萩スカウトフィールドで行われた東京連盟サマーキャンプに参加しました。東京連盟の他の団のスカウトと共に、信号塔の作成、シャワーウォーク、ハイキング、ワイドゲーム、キャンプファイヤーなどを行いました。中3の班長のボーイ隊での最後の夏キャンプ、小6の初めて長期キャンプとなりましたが班長達は教えられることを教え、小6スカウトは初めての長期キャンプを



乗り越え大きく成長したことでしょう。笑いあり涙ありのキャンプでした。



8/6 新宿から高萩スカウトフィールドまでバスで移動し、開会式の後、設営を行いました。

8/7 7~8mある丸太を紐だけで組み合わせて信号塔(物見台)を作りました

8/8 午前中は近くの花貫溪谷まで移動し、シャワーウォーク(溪流歩き)を体験しました。午後は、隊の自主プログラムとして、夕食のための米飯をコッフェル・飯盒ではなく、竹を鍋代わりに炊きました。

8/9 スカウトフィールドから達破山(たつ

われさん)までハイキングを行いました。

8/10 サマーキャンプに参加した6ヶ班対抗でゲームを行いました。一つ目のゲームの「班旗立て」ではトラ班が準優勝しました。

8/11 撤営(キャンプサイトの片付け)を行い、昼にスカウトフィールドを出発し、帰路につきました。





隊キャンプ

8/15-18 ベンチャー隊と合同で夏季キャンプを行いました。東京連盟サマーキャンプに多くのスカウトが参加したこともあり、夏季キャンプへの参加は2名のみでしたが、様々な活動をおこなうことができました。

8/15 中野からバスで移動し、午前中は設営を行いました。午後はサイトでコンパスの使い方を学びました。

8/16 雨の為、予定を変更し、午前中はサイトで簡易計測器を使った、高さの計測法について学びました。午後は白河の市街地を散策するハイキングを行いました。

8/17 車で那須岳（茶臼岳）まで移動し、那須岳の登山を行いました。往路はロープウェイを利用し9合目から河口までの登りでしたが、下りは山麓駅まで歩きました。

8/18 午前中はお楽しみプログラムとして、アーチ

エリーの体験をしました。的の中心10点を射抜けばアイスをもらえるということで頑張ったところ、副長補のTくんが見事に当てました。帰りのバスで立ち寄ったサービスエリアでアイスゲットしました。



ベンチャー(VS)隊 隊キャンプ



8/15-18 今年はボーイ隊と合同で隊キャンプを行いました。受験のため休隊中のSくんを除くと、現在活動しているのはKくん、Yさんの2名のみ。Kくんは世界スカウトジャンボリーに参加した関係で欠席。Yさんのみの参加になりましたが、ボーイ隊と合同で様々なプログラムを行いました。

8/15 キャンプ場は常設テントがあるので設営は短時間で済みました。空いた時間を有効に活用し、読図訓練を行いました。ベンチャースカウトは自らの技能修得と同時に、ボーイ隊にも指導を行いました。夜は雨だったので隊長のお話で「大昔の人はなぜ神様を信じるようになったのだろう」について聞きました。



8/16 台風で風雨が強まり予定を変更してサイト内で計測技能を訓練しました。手近な材料を利用して高さを計るための簡易計測器を作り、実際に近くの木の高さを測りました。午後は天候が回復したので、麓の白河市まで車移動し、歴史ウォークラリーを行いました。コマ地図の読み方が難しく最初は示されたルートをとどることができませんでしたが、やがてコツを掴んで歴史に纏わるポイントを回ることができました。

8/17 台風一過で快晴の中、茶臼岳（標高1915m）登山に挑戦しました。ロープウェイで山頂近くまで上がり、頂上から山小屋経由山麓まで下りました。地形図を読みながら野帳を記録し、観察





記録を取りました。山頂付近は雲が下から湧き上がってくるようで見事な景色でした。夜は8団合同のキャンプファイヤを楽しみました。スタンプは「金ちゃんとクマゴロー」現代にタイムスリップした仲良しの金太郎とクマが力を合わせてまた昔に戻る創作おとぎ話、自己採点評価 89 点でした。

8/18 午前中はお楽しみプログラムとして、アーチェリーの体験をしました。その後、午後到大急ぎで撤営を行い、カブ隊のバスに便乗して帰路につきました。

第24回世界スカウトジャンボリー参加報告

7/19-8/5 アメリカ・ウェストバージニア州にあるサミットベクテル保護区で、アメリカ連盟、カナダ連盟、メキシコ連盟共催による、第24回世界スカウトジャンボリーが開催され、中野8団から、1名のベンチャースカウトと1名の指導者が参加しました。日本全国から参加した約1200名のスカウト・指導者・IST (International Service Team) と呼ばれる運営スタッフ・本部役員に加え、海外からの参加者も併せて総参加者は約40000人。キャンプ生活をしながら、アクティビティーと交流を楽しみました。サミットベクテル保護区は、米国ボーイスカウト評議会が管理する4つの施設のうちの1つです。



8団のKくんは、同じあすなろ地区の中野11団のスカウト2名、城東地区、大都心地区のスカウトと共に第9隊に所属しました。ローバー隊長のA.N.リーダーも、9隊の指導者になりました。

3/21 第1回目の事前訓練集会が行われました。ここは主に顔合わせ、世界ジャンボリーの様子のお話を聞き、お互いの自己紹介をしました。午後には保護者説明会が行われま

した。

3/29-31 事前訓練キャンプが、千葉県山武市の東京連盟日向野営場にて行われました。班分けが決まり、班長、次長その他の役割を決め、2泊3日のキャンプを行う中で班のチームワークを作り上げていきました。ただ、この時点ではまだ実感もわかず、お互いも知らない者同士、手探りの中でのキャンプは戸惑いも多く、うまくいかないこともたくさんありました。

6/16 第2回事前訓練集会。班体制の確認、準備物の確認に加え、「カルチャーディ」で披露する「外国隊に紹介したい日本」について班ごとに話し合い、出し物を決めました。

7/19-21 代々木の国立青少年オリンピックセンター (NYC) に集合し、最後の事前訓練集会。7/20には派遣団結団式と壮行会が行われました。そして7/21にNYCからバスで成



田空港からアメリカに向けて出発しました。

7/21 17:45 に出発し、15:00 にシカゴ着。時差の関係で時間をさかのぼってしまいました。そして国内線に乗り換え、サミットベクテルに近いシャーロット空港に到着。シャーロットでホテル泊。



7/22 ホテルからバスで5時間かけてサミットベクテル着。雨でしたが、割り当てられた9隊のキャンプサイトは、近所のアメリカ隊により、既に必要数のテントと食堂フライが建てられていて、雨の中で設営する必要はありませんでした。

7/23 この日から活動が始まります。スカウトたちは各種準備されているアクティビティーを体験し、他の国のス

カウトとワッペンやグッズの交換を楽しみ、また隊同士での交換会を行ったりします。またこの日の夜に開会式が行われ、ゲストのショーなどで盛り上がりました。

7-24-25 毎日活動に出かけていました。

7/26 この日はカルチャーディ。それぞれのサイトで国を紹介するような出し物を披露するとともに、各国のサイトに出かけ諸外国の出し物を楽しみます。文化祭のような形と考えればわかりやすいです。9隊では、全体として抹茶サービス。そして班ごとにけん玉などの昔遊びや折り紙、水習字などを紹介しました。Kくんは最初に出かけようとしたところ、いきなり押し掛けてきた(?) お客様に対応するためにお茶サービスの手伝いを始めたら、そのまま抜けられなくなってしまい、ずっとお茶サービスの裏方に終始していました。そしてこの日の夜にはユニティ



ショー（日本で言うところの大集会）が行われました。前国連事務総長の潘基文（パン・ギムン）氏が来賓として挨拶をしました。この日のゲストはブロードウェイでディズニーミュージカルに出演しているプロ歌手の方々。誰もが知っているディズニーソングで大盛り上がりでした。

7/27-31 引き続き活動に出かける日々。Kくんは

アクティビティーよりもグッズ交換が楽しくあちこちで交換していました。

8/1 最終日。隊であちこちに出かけ集合写真を撮りました。夜には閉会式。これが最後なのでこれまでのステージショーの中で一番盛り上がっていました。ショーの最後には迫力満点のたくさんの花火が上がって世界ジャンボリーは終了しました。



8/2 4時起きで撤収。そして8時には貸し切りバスで会場を後にし、6時間ほどかけてワシントンD.C.に到着しました。

8/3 ワシントンD.C.観光の日。ホワイトハウス、リンカーン記念堂、連邦議事堂など、ワシントンD.C.の主だった観光ポイントをめぐりました。1日観光バスで回る予定でしたが、当初バスがトラブルでなかなか来ないので途中まで地下鉄に乗るというハプニングもありましたが、おかげで地下鉄に乗るという体験ができました。

8/4-5 無事に帰国。

<https://www.scout.or.jp/24wsj/>

<https://www.2019wsj.org/>



「世界ジャンボリーを終えて」

ベンチャー隊 R.K.

私は「国と国との文化の違いを理解し、自分の見識を広げる」という目標を立てて、今回のジャンボリーに参加した。その目標を達成するために、他国のサイトの訪問や、アリーナ周辺でのワッペン交換などの活動をした。またこれらの他にも、アクティビティや食事など、様々な経験を今回のジャンボリーで体験することができた。それらの活動のなかでも、次の3つの経験が特に印象に残っている。一つ目が日本と外国との価値観の違いだ。

例えば日本人と比べて、外国人(特にアメリカ人)は自分の意見を貫くことが多く、日本人より個人を重視する国民性を持っていたことが大変印象的であった。

また、食事の面でもアメリカの食事は日本と比べて味付けが質素だったり、大雑把なものが多かったことが印象的だった。

このことについて日本に帰国してから調べてみたのだが、アメリカは清教徒の移民が由来で、その清教徒達が質素な暮らしを重んじていたということが、現在のアメリカの食事に繋がっているのだと知ることができた。

他にも日本人と比べて服装が非常にカジュアルだったり、エスカレーターで片側に寄りたりすることがなかったりと、細かい部分で文化の違いを感じることができた。

私はこれらのことから、ある国では常識であることも、別の国では常識でなくなったり、それがお互いの認識の行き違いを産むことがあるということ深く理解することができた。

二つ目に印象に残っていることが、他国のスカウトとのワッペン交換を通じた文化交流だ。ボーイスカウトにおいて、ワッペンにはその国や地域の象徴的な風景や伝統的な模様が描かれていることが多く、その国のワッペンを知ることによって、その国の文化を知ることができると言っても過言ではないほどである。

例えばオーストラリアのワッペンならば、アボリジニの伝統的な模様だったり、チリのワッペンならば、アンデス山脈とラマが描かれていたりする。

私は今回のジャンボリーを通して、約30ヶ国、145枚のワッペンを交換することができた。ワッペンの他にもTシャツや外国の制服、バックやネッカチーフなど様々なものを交換して、文化交流をすることができた。

また、ワッペン交換を通じて他にも自分の英語力を磨くなど、様々な経験を得ることができた。ワッペン交換では、値引き交渉や自分の意思を伝えるときに英語が必要なことが多い。交換を始めて最初の頃は相手の英語を聞き取れなかったり、誤って聞き取り、トンチンカンな返事をしたりなど、うまくいかないことも多々あったが、交換を重ねるにつれて、自分の英語力を飛躍的に向上させることができ、簡単な世間話や、自国の文化紹介をできるようになった。

他にも日本の文化が海外において、想像以上に人気だということを見ることができた。例えば日本の富士山の模様が描かれたワッペンは、一枚で数枚のワッペンと交換してもらったり、日本派遣団の法被は外国のスカウトに「Kimono」と呼ばれ、連日交換を持ちかけられたりなど、日本の文化が海外で浸透していることをよく理解できた。

三つ目に印象に残っていることが、大会のアクティビティだ。

私は大会期間中、文化交流に主軸を置いて活動をしていて、ジャンボリー中は2回しかアクティビティに参加しなかったが、どちらのアクティビティも、普段の生活では滅多に味わえないもので、深く思い出に残っている。

一つ目のアクティビティはラフティングだった。ラフティングと言っても、安全性の問題からか、そこまで激しいものではなく、ゴムボートを漕いで、たまに飛び降りて泳いだりする程度のものであった。それでも、水が渦巻く急流を下ったりすることがあって、これまでにない爽快感を味わうことができた。

二つ目のアクティビティはキャノピーだった。キャノピーは、ツリーウォークのようなもので、森の中を飛びまわるような感覚は、非常に爽快であった。ただ、木の上での待ち時間が長く、飛んでいる時間よりも、待ち時間の方が長かったことが残念だった。

私は今回のジャンボリーで自分を大きく成長させることができたと感じている。外国のスカウトとの交流やアクティビティ、全てがかけがえのない思い出であり、今後の人生でも決して忘れることはないだろう。ジャンボリーに参加する前に立てた目標は、自分では十分達成することができたと考えている。今後は、海外の人間と交流する機会があったら積極的に参加し、今回得た経験を活かしていきたいと思う。

5, 6, 7, 8月のスカウト進歩情報

BVS :	T. T. くん	小枝章 5 本目、小枝章 6 本目
	A. T. くん	1 年章、小枝章 4 本目
	B. K. くん	1 年章、小枝章 3 本目
	R. T. くん	1 年章、小枝章 3 本目
	K. S. くん	小枝章 2 本目
	I. O. ちゃん	小枝章 2 本目
	K. O. ちゃん	小枝章 2 本目
	H. K. ちゃん	小枝章 1 本目
	R. S. くん	1 年章
	T. Y. くん	1 年章
CS :	Y. O. くん	チャレンジ章「手伝い」「災害救助員」「修理博士」「乗り物博士」
	E. S. くん	チャレンジ章「市民」「自然保護」「手伝い」「料理家」
	J. H. くん	チャレンジ章「案内」「災害救助員」「技術博士」「運動選手」
	K. K. くん	チャレンジ章「手伝い」「自転車博士」「音楽家」
	H. O. さん	チャレンジ章「救急博士」「音楽家」
	Y. K. くん	チャレンジ章「手伝い」「料理家」
	I. T. くん	チャレンジ章「手伝い」「料理家」
	N. T. くん	チャレンジ章「災害救助員」「特技博士」
	Y. S. くん	チャレンジ章「水泳選手」
	R. T. さん	チャレンジ章「音楽家」



ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

7～8月に行われた第24回日本スカウトジャンボリー(24WSJ)。

世界ジャンボリーは4年に1回行われる世界中のボーイスカウトの祭典です。それぞれの国から班や隊を組んで参加し野営(キャンプ)をしながらアクティビティーに参加したり各国からの参加スカウトと交流をします。野営は生活の手段であり、目的ではありません。その他の今後のジャンボリーの予定は以下になります

2021 16WSM(第16回世界スカウトローバー隊年代のジャンボリー)
アイルランド (ローバー隊年代)
現高2以上

2022 18NSJ(第18回日本スカウトジャンボリー)
東京 (ボーイ隊、ベンチャー隊)
現小3～中3

2023 25WSJ(第25回世界スカウトジャンボリー)
韓国 (開催時@7月に14歳～17歳)
現小4～現中2 (誕生日による)

その時に該当年齢になるスカウトの皆さんは、是非参加して下さいね。また、この他にもボーイ隊以上には、様々な派遣事業に参加する機会があります。大会によって取得級の指定があることがありますので(特に国際大会は1級以上)それまでに頑張って進級して下さい。それぞれの大会の様子は、以前に参加した先輩の報告を参考にして下さい。



* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。現在、夏キャンプまでの写真がアップされています。
<http://bsn8.world.coocan.jp/>

リーダーの活動

- 6/6 地区円卓会議
- 6/9 WB 研修所課程別 BS 課程奉仕
- 6/18 東連トレーニング委員会
- 6/21 地区委員会
- 6/24 地区コミ会議
- 6/27 地区協議会
- 6/30 団会議
- 7/6 地区特別円卓ソングゲーム講習会
- 7/6 地区特別円卓ソングゲーム講習会奉仕
- 7/7 東連コミッショナー集会
- 7/15 夏季キャンプ下見
- 7/16 東連トレーニング委員会
- 7/24 地区委員会
- 7/25 WB 研修所所員会議
- 7/28 団会議
- 8/4 CS 夏キャン会議
- 8/22 地区委員会
- 8/26 地区各種委員会
- 8/26 地区コミ会議
- 8/30 WB 研修所所員会議

スカウト豆知識

「いやさか」

「いやさか」は、日本古来の言葉で「弥栄」と書き「ますます栄える」という意味です。ボーイスカウト日本連盟が設立されたころに日本の指導者の育ての親であった佐野常羽氏が、イギリスの研修所で日本の祝声を披露する機会に「いやさか」を使ったことに始まります。いやさかの声や意味がスカウトの祝声としてたいへんよいことから、万歳のかわりに、相手を賞賛するときなどに使います。カブスカウトは動物の鳴き声にちなんで「ウォー！」ビーバースカウトは小さなスカウトにわかりやすく、「ビーバー！」を祝声に使っています。